

平成26年度

事業報告書



公益財団法人 足立区生涯学習振興公社

目 次

公社経営方針	1
事業報告概要	2
定款事業別体系図	4
事業区分別事業報告	6
公社概要	36
組織図	36

公社経営方針

当公社は、公益財団法人として、足立区民に文化及びスポーツ並びに学習の体験や機会を提供するとともに、自主活動を支援する事業を行い、生涯学習を推進し、人材の育成を図り、生き生きとした地域社会の創造に寄与することを目的としている。

平成 26 年度の事業計画及び予算編成にあたっては、足立区から受託する「あだち放課後子ども教室」支援を中核事業として位置付けるとともに、地域での文化・スポーツ・学習活動を地域の実情にあわせて計画することで、公社の持つ経営資源の効果的な活用により、「生き生きとした地域社会」を築くことを目標にした事業展開を図って行く。文化では、アウトリーチ(注1)、学習・スポーツでは人材育成を重点に取り組んでいく。

また、小学校への読書応援事業「きっずライブラリー」(注2)を始めとし、区・教育委員会と協力して事業展開に取り組む。

上記の状況を踏まえ、事業の実施、予算執行にあたっては、より一層効率的で的確な運営を図ることにより、事業の実施効果を挙げ、区民へのサービス向上に努める。

重点事項

① あだち放課後子ども教室の運営支援及び拡充に重点的に取り組む。

平成 26 年度は平日週 5 日開催の安定的な運営のための支援を行うとともに、地域や学校の実情を踏まえつつ、実行委員会や学校と協議を進め、その協力体制を強化して、学年の拡大等に取り組む。

② 区民に文化・学習・スポーツの豊かな体験機会を提供するとともに、人材育成を図る。

公社自主財源を効果的に投入し、文化面では、アウトリーチをキーワードとした地域中心型の文化事業を展開していく。

また、学習・スポーツ面では、地域学習活動人材育成を始めとする学習機会を提供する。ここで、育成された人材を放課後子ども教室などの場で活用を図っていく。

③ 区・教育委員会と協力して、読書応援事業等を展開する。

あだち放課後子ども教室事業を通して、小学校への読書応援事業「きっずライブラリー」を実施する。学校、中央図書館、教育委員会等と連携・協力し、子どもたちが本に親しむ環境づくりを行う。

④ 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

(注1)ここでは、小学校、高齢者施設、障がい者施設、公共施設などで、文化芸術に触れる機会の少ない区民を対象にして、演奏会等を実施するものである。

(注2)平成 21 年度から 25 年度まで積み立てた約 4,500 万円を用いて小学校全校の図書館に本を贈ると共に、様々な工夫をして、子どもたちにより多くの本を読んでもらうための取り組み。

平成26年度 事業報告の概要

平成26年度は、当公社の主力事業であるあだち放課後子ども教室の安定運営に加え、公社自主財源を活用し、公益財団法人設立5周年記念事業「放課後子ども教室読書応援事業『きつずライブラリー』」ほか、自主事業を展開した。

また、放課後子ども教室事業では、安定運営の基盤となる規則の制度整備に着手した。

重点事項に基づく主要事業の概要は以下のとおりである。なお、定款の事業区分別事業報告は、6ページ以下に記載している。

1 あだち放課後子ども教室の運営支援及び拡充に重点的に取り組む。

平成19年度からモデル事業として開始した当該事業は、26年度末には、おおむね全校で週5日開催となり、併せて全学年対象の実施校数は51校、週3日以上図書室使用は60校に拡大し、安定的運営を続けている。

(1) 実行委員会への運営支援

各校週1回以上の巡回訪問により、現場の状況を把握し、児童、及び保護者への対応や課題に対し、学校関係者とともに迅速な対応で早期解決を図った。また、実行委員会規約の全面改定による整備を行い、スタッフの役割を明記することで、責務の共通理解を図った。さらに、学校との合同避難訓練を行うことにより、非常時の対応についてスタッフの危機管理意識を高めた。

(2) 会議、研修会等の充実・支援

実行委員長、学校長によるブロック会議を開催し、各校の課題の共有、解決に向けての意見交換を行い、ブロックごとの連携を深めた。また、全校で安全管理講習会を実施し、緊急時の対処法を習得することで、見守り時に迅速な対応ができる能力を高めた。さらに、スタッフのスキルアップを目的に、応急手当、児童心理をテーマとした研修並びに子どもの人権についてのガイダンスを実施し、より専門的な知識を学ぶことで、安全管理スタッフとしての技術の向上を図った。

2 区民に文化・学習・スポーツの豊かな体験機会を提供するとともに、人材育成を図る。

生涯学習の機会提供に関する事業では、人材育成事業で発掘・養成した人材を活用し、読み語りキャラバンやコーディネーショントレーニング教室などの体験プログラムを実施した。また、あだち子どもサポーター養成講座の修了者を、放課後子ども教室での活動(おりがみ・読書支援)へとつなぎ、子どもたちの体験・交流活動の機会拡充を図った。さらに、子どもに関わる活動者や保護者を対象に、児童期の発達段階の理解と対応について学ぶ講座を実施し、子どもとの適切な接し方について理解を深めた。

文化イベント「マイタウンコンサート」では、生物園のリニューアルオープンに合わせて実施、また北千住駅では、多くの乗降客が足を止めて鑑賞するなど、郷土博物館、都市農業公園でもそれぞれ好評を博した。当年度の新規事業として、都市農業公園の収穫祭に合わせ「ドンドン♪フェスティバル」(プロの演奏家と一緒に参加者が打楽器の即興演奏を行う企画)を実施した。各会場と公社が連携することにより、施設のイメージアップや新たな層の集客につながり、区民の文化芸術に触れる機会が増えるなどの、相乗効果が得られた。

1年生を対象とした「小学校アウトリーチコンサート」では、プロの迫力ある演奏を間近で体験し、音楽の楽しさに触れることに加え、楽器、作曲家などへの興味関心を抱かせた。実施後のアンケートでは、「楽器をやってみたい(弾いてみたい)」などの言葉が多く寄せられ、文化芸術に親しむきっかけとなったと考えられる。

人材育成では、地域の演奏家を対象に「演奏家のためのアウトリーチ講座」を実施し、アウトリーチ活動にとって重要な考え方や技術を習得した。演奏家のスキルを向上させ区民へのアウトリーチに生かすことで、区民が文化芸術を身近に感じられることを目指した。「あだちアートリンクカフェ」では、文化・芸術に関わる参加者の交流を通して、新たな地域文化・創造の機会を提供した。

3 区・教育委員会と協力して、読書応援事業等を展開する。

公社が公益財団法人となって5周年の記念事業として、小学校図書館(以下、図書室)に本を寄贈する「放課後子ども教室読書応援事業『きつずライブラリー』」を実施した。子どもたちがたくさんの本に出会い、本を好きになることを目的に、7月から9月に200冊、2月から3月に128冊を全70校に寄贈した。

本の選定にあたっては、子どもたちの希望や図書担当教諭の意見を聞き、図書室に比較的少ない「ものづくり」「スポーツ」「遊び」「音楽・芸能」「美術」などの分野の本を充実させた。また、読書啓発と事業周知を図るためのプロモーション活動を3期に分けて行った。

第1期(7月～10月)は、図書室への『きつずライブラリー』パネルの設置、事業PR用のポスターの掲示やチラシの配布等により周知した。第2期(11月～12月)は、子どもがおもしろかった本のことをカードに書いて友達に紹介する「読んだ本教えて!」、そのカードを書いた児童にプレゼントする「オリジナルしおり」の作成、各クラスに掲示する「おすすめの本」ポスターづくり、さらに公社ニュース「ときめき」やホームページでの事業紹介を行った。第3期(1月～3月)は、第2期のプロモーション活動を継続しながら、「おすすめの本」ポスターで追加図書のPRを行った。

放課後子ども教室のスタッフや学校の先生に児童の様子を聞いたところ、「学校には少ないジャンルの本が多く子どもたちが喜んでいた」、「『きつずライブラリー』の本の貸し出しが多かった」、「図書室へ行く子が増えた」など事業を評価する感想を多数いただいた。また、「読んだ本教えて!」のカードが全校で15,000枚を超えており、この事業が多くの子どもたちの本への興味を高めるきっかけになったことが伺える。

4 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う

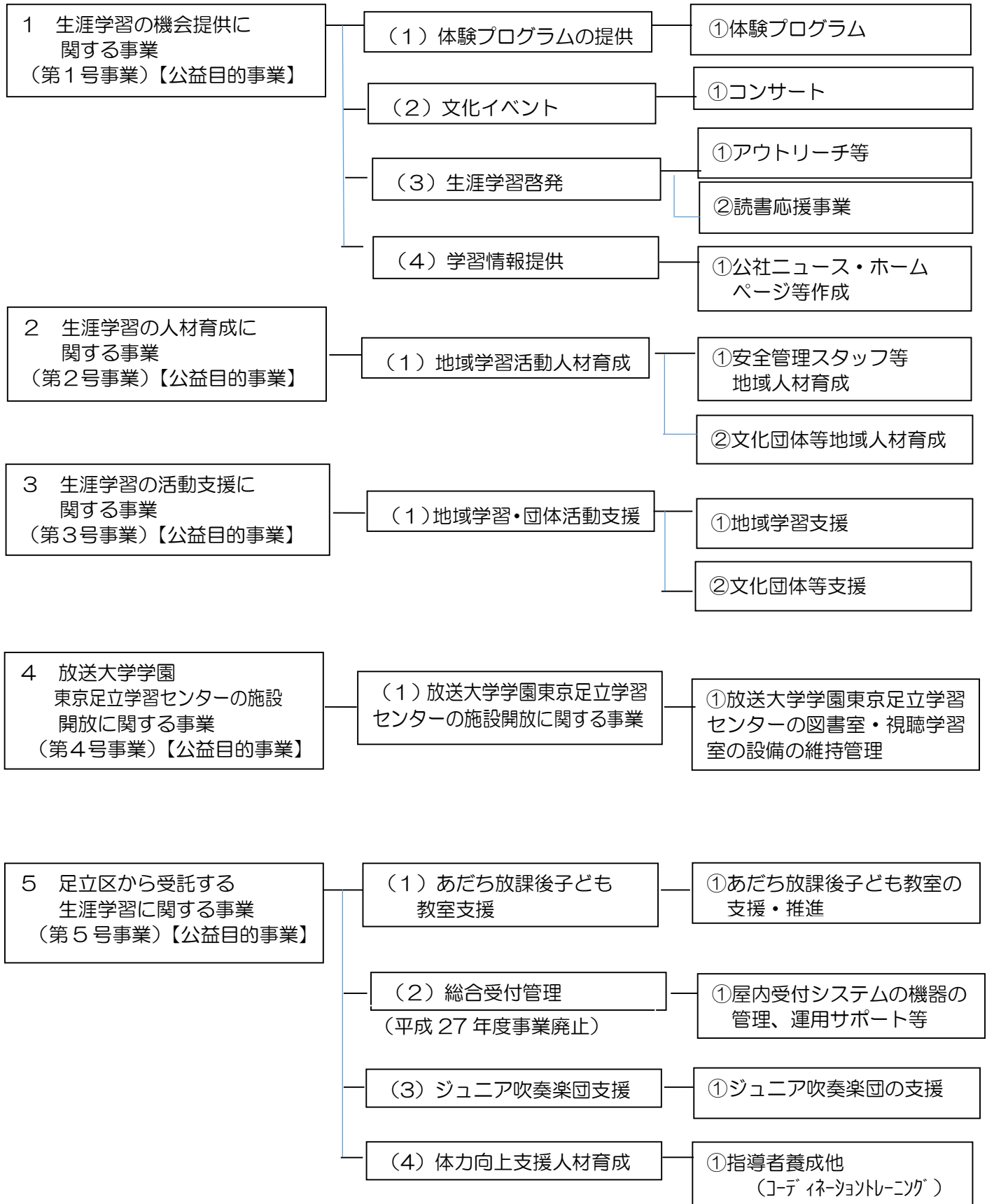
事業活動や計算書類等の開示をはじめ、法令等に遵守した適切な法人運営を行っている。なお、公社非常勤規程の改正など必要な規程の整備をした。

平成26年度 定款事業別体系図

定款第4条第1項事業

事業大区分

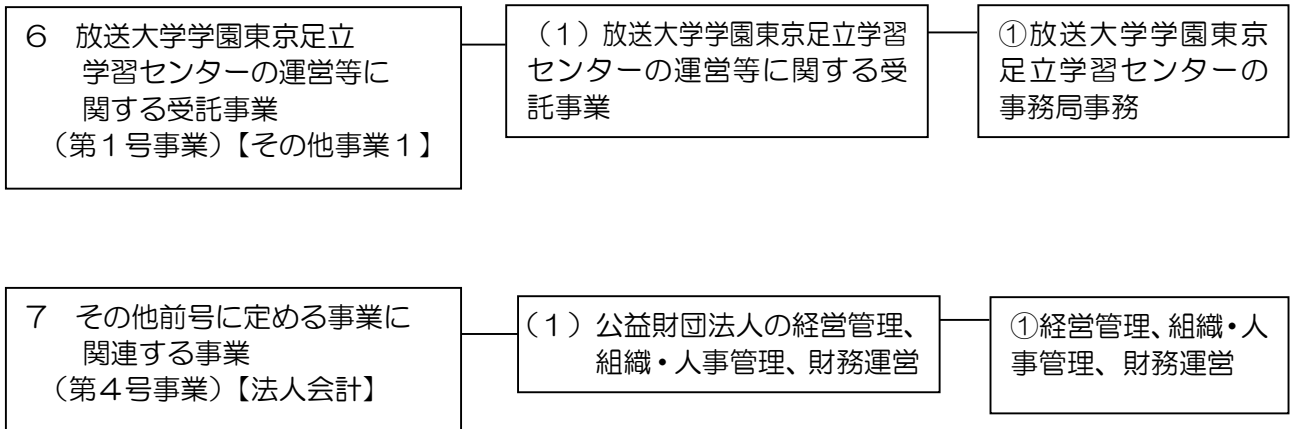
事業小区分



定款第4条第2項事業

事業大区分

事業小区分



事業区分別事業報告

1 生涯学習の機会提供に関する事業

(定款第4条第1項第1号事業)【公益目的事業】

(1) 体験プログラムの提供			予算現額
			1,247,000円
目的及び概要	地域学習センターや学校施設等を活用して、学習やスポーツ等の体験活動と学習啓発の機会を提供する。今年度も引き続き、「ボイストレーニング講座」修了者を新規メンバーとして加えながら、読み語りキャラバンによる「お話し会」を実施する。また、運動能力向上に効果のある*コーディネーショントレーニング教室を実施する。		
26年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】読み語りキャラバンによるお話し会	8～2月	5回	地域学習センター
【2】キッズコーディネーション	9月～	1回	
26年度(H26.4.1～H27.3.31)実績			執行額
			1,217,307円
実施概要	<p>【1】読み語りキャラバンによるお話し会 「読み読みのためのボイストレーニング講座」の修了者10名を新規にメンバーとして加えた「読み語りキャラバン隊」によるスペシャルお話し会を、地域図書館や幼稚園等で計5回実施した。ことばあそび、詩の朗読、手作り大型絵本での読み語りなど、毎回演目を工夫しながら、会場が一体となるお話し会を展開した。</p> <p>【2】キッズコーディネーション教室 小学校1・2年生を対象に、鹿浜第一小放課後子ども教室で「キッズコーディネーション教室」を開講し、楽しみながら運動に親しむ機会を提供した。申し込みのあった45人の児童を対象に全12回の教室を行い、バランス能力やリズム・反応能力など、コーディネーション能力の向上に効果的な運動の体験を通じて、運動への動機づけの機会とした。</p>		
実 施 結 果		延参加人数	実施回数
【1】読み語りキャラバンによるお話し会 【6/23、8/4、10/29、12/22、2/16】		441人	5回
【2】キッズコーディネーション教室(12回コース) 【9/1～12/22】		463人	1回
小計		904人	6回
			生涯学習センター 中央図書館、 花畑地域図書館、 舎人地域図書館、 はなぞの幼稚園 鹿浜第一小

*コーディネーショントレーニング：身体と脳・神経系統のバランスの良い発育を促し、運動の習得効果を高めるためのトレーニング方法

(2) 文化イベント		予算現額		
		1,991,000 円		
目的及び概要	<p>多くの区民が、文化芸術によって、地域に愛着心や誇りを持ち、文化芸術の薫り高い地域社会の実現のために、文化イベントを提供する。</p> <p>「マイタウンコンサート」として、北千住駅構内や都市農業公園などの区民にとって身近な施設で、区内に住むアーティストを中心とした演奏会を開催する。併せて、アーティスト自身によるプロデュース可能な、人材を育成すると共に地域での活動の可能性を拡げていく。打楽器等の即興演奏を中心とした*ワークショップ&コンサートを行い、新たな「祭り」の場を創出し、参加者相互の世代を超えた交流を図る。</p>			
26 年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】マイタウンコンサート		6,9,12,3月	4 回	区内
【2】リズムワークショップ&コンサート		11 月	1 回	都市農業公園
26 年度 (H26.4.1~H27.3.31) 実績				執行額
				1,753,991 円
実施概要	<p>【1】マイタウンコンサート</p> <p>5月に開催したマイタウンコンサートは、リニューアルオープン期間中の生物園で実施した。コンサートのために夜間開館され、区内出身のトランペット奏者・山崎千裕氏率いる「山崎千裕+ROUTE14band」が出演した。昼の開館時間に来場していた多くの家族連れのお客様が夜に再入場され、幻想的な雰囲気演出のもと、会場は盛況であった。</p> <p>7月は七夕の夕方に北千住駅南口コンコースで実施した。駅を利用する通勤客、学生など通常のマイタウンコンサートの来場者とは異なり、幅広い区民の方が足を止め、音楽に触れた。出演は足立区在住のメンバーを含む「ヴィーヴ！サクソフォン・クワルテット」。ジャンルを超えた親しみのある曲が中心のプログラムや、客席に入っの演奏などの演出が満員の会場を盛り上げた。</p> <p>12月は郷土博物館講堂で実施した。区内在住のオカリナ、トランペット奏者の茨木智博氏とギター奏者の大柴拓氏が出演した。両氏の超絶技巧を駆使した演奏や、和やかなトークが、来場した多数の近隣の区民に好評を博した。来場者からは、コンサート等の機会が少ない区東部地区での開催継続を望む声を多くいただいた。</p> <p>3月は梅の花が咲く都市農業公園の会議室で実施した。区内在住のバストロンボーン奏者の西田幹氏を中心としたサクソ、ピアノのトリオが出演した。クラシックから映画音楽、歌謡曲まで幅広いジャンルの演奏に、立ち見を含めた満員の来場者からは惜しみない拍手を頂いた。</p> <p>【2】リズムワークショップ&コンサート(ドンドン♪フェスティバル)</p> <p>今年度新規の当事業は「ドンドン♪フェスティバル」というタイトルで都市農業公園の収穫祭に合わせ開催した。世界で活躍する著名な和太鼓奏者(ヒダノ修一氏)や、ラテンパーカッション(橋田ペッカー正人氏、石川武氏)の出演による迫力ある打楽器コンサートの後、参加型の打楽器の即興演奏を行った。</p>			

実施概要	約200名の参加者がファシリテーターと呼ばれるリーダーの指示に合わせて、様々なリズムを即興で折り重ねていくと、大きなリズムのうねりが生まれた。参加者の中には打楽器を持参した方も多くいた。晴天の秋空の下、自然の恵みに感謝する感動的な「リズムの祭り」が実現した。		
実施結果	延参加人数	実施回数	実施場所
【1】マイタウンコンサート 【5/3、7/7、12/5、3/6】	1,064人	4回	生物園、北千住駅、郷土博物館、都市農業公園
【2】リズムワークショップ&コンサート (ドんどこ♪フェスティバル) 【11/16】	200人	1回	都市農業公園
小計	1,264人	5回	

*ワークショップ：体験型講座

(3) 生涯学習啓発	予算現額
	47,862,000円
	①文化事業 ②読書応援事業 執行額
	47,603,198円

①文化事業			
目的及び概要	<p>文化芸術に触れる機会の少ない区民の方等に、文化芸術の機会を広く提供するため、地域で展開する事業を行う。</p> <p>「小学校*アウトリーチコンサート」は、感性を養い人間力の向上を図ることを目的に、早い時期(小学校1年生)で、プロの演奏家による本物の芸術を間近で体験させる。「ふれあいコンサート」は障がい者施設で生の演奏を、「ふれあい出前寄席」は高齢者福祉施設で落語・太神楽等の古典芸能を間近で鑑賞する機会を提供する。</p> <p>これらの公演に際しては、対象者に一定の役割を担わせ、対象者の達成感や責任感を涵養し、生きる力の向上へと繋げていく。また、SPC(*スチューデントプロデュースコンサート)オリジナルソング「このまち」が区内で広く親しまれ、愛唱されるような周知活動を継続して展開する。</p>		
26年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】小学校アウトリーチコンサート	12月~2月	7校	区内小学校
【2】ふれあいコンサート	8,10~12月	4回	障がい者施設等
【3】ふれあい出前寄席	4~6,9,11月	4回	高齢者福祉施設等
【4】SPC オリジナルソング「このまち」周知事業	8月	1回	区内

*アウトリーチ：地域へ出張して行う普及活動

*SPC スチューデントプロデュースコンサート：一般公募で集まった区内在住・在学の高校生・大学生が、約10ヶ月かけて、プロの演奏家が出演するコンサートを創り上げた企画

26年度（H26.4.1～H27.3.31）実績		①文化事業 執行額 2,404,261円	
実施概要	<p>【1】 小学校アウトリーチコンサート 幼児期から就学への移行期を終え、学校生活に慣れてきた1年生を対象に、本物の音楽に触れ、興味・関心、感性、社会性などを喚起するため、7校14クラスに実施した。 出演者は優れた演奏だけではなく、興味や関心を抱かせる様々な仕掛けや、楽器や作曲家についてのわかりやすい話をする事で、子どもたちの集中を切らせることなく、音楽の楽しさや素晴らしさを伝えた。終了後に出演者が子どもたちと給食を共にした学校もあり、アーティストをより身近に感じられる体験を提供した。 出演：カルテット・スピリタス(サクソ四重奏)扇小、大谷田小、梅二小 田中靖人(サクソ)、白石光隆(ピアノ)栗島小、西伊興小 クアルテット・エクセルシオ(弦楽四重奏)竹の塚小、長門小</p> <p>【2】 ふれあいコンサート 【3】 ふれあい出前寄席 区内在住者を含む出演者に出演を依頼し、高齢者福祉施設及び障がい者福祉施設8施設でコンサート及び寄席演芸を実施した。 施設利用者から数名の企画リーダーを選出し、施設職員、公社担当課職員と共に、本番公演前に4回の企画会議と終了後の反省会を実施した。会議ではポスターの作成、公演告知、演出等話し合い、準備作業やポスター掲示、当日の公演運営などに携わっていただいた。公演一週間前には、出演者による「事前アウトリーチ」も行い、他の利用者へ出演者を紹介するなどの役割を担っていただくとともに、本番公演への期待感を盛り上げた。 谷在家福祉園では、打楽器の即興演奏で参加者同士のコミュニケーションを向上させる「ドラムサークル」を行い、公社文化イベントとの連携と参加者の導入を図った。 実施後のヒアリングでは、外部とのコミュニケーションによる意欲の向上など、生活の充実に資する効果を確認することができた。また施設職員には、利用者参画の事業ノウハウを提供することができた。</p> <p>【4】 SPCオリジナルソング「このまち」の周知 区民への周知と合唱等の演奏機会の促進のため、公社ニュース「ときめき」紙面でCDと楽譜の配布を告知した。</p>		
	実施結果 【1】 小学校アウトリーチコンサート 【12/3、1/22、28、2/5、9、3/3、3/18】	延参加人数 355人	実施回数 14回

実施結果	延参加人数	実施回数	実施場所
【2】ふれあいコンサート ふれあいコンサート企画リーダー会議、反省会 【9/24、10/1・8・15・29】	25人	5回	ゆうあいらんど さの
ふれあいコンサート 【10/22】	82人	1回	ゆうあいらんど さの
【10/31】 (事前アウトリーチ含む)【1/14・21】 (事前アウトリーチ含む)【3/16・30】	77人 116人 120人	1回 2回 2回	谷在家福祉園 西伊興ひまわり園 綾瀬なないろ園
【3】ふれあい出前寄席 ふれあい出前寄席企画リーダー会議、反省会 【5/19・26、6/2・9・12・23】 【8/22・29、9/5・12・26】	155人 25人	6回 5回	さくら ハピネスあだち
ふれあい出前寄席 【6/12】	150人	1回	千寿の郷
【6/16】	130人	1回	さくら
【9/19】	100人	1回	ハピネスあだち
【11/4】	80人	1回	足立万葉苑
【4】SPC オリジナルソング「このまち」の周知 SPC オリジナル CD 宣伝 【通年】 (「公社ニュースときめき」8月号)		1回	文化活動支援課
一般区民配付	18人	18回	民生・児童委員 区内合唱サークル他
小計	1,433人	59回	

②読書応援事業			
目的及び概要	<p>あだち放課後子ども教室での学校図書館の利用拡充に伴い、子どもたちの図書館で過ごす時間がより豊かになるよう、興味の幅を広げる本を贈ることをきっかけに、子どもたちが本に親しむ環境づくりを「放課後子ども教室読書応援事業『きっずライブラリー』」として行う。</p>		
26年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】モデル校への先行実施(図書への寄贈、読書啓発)	4月	4校	区内小学校
【2】図書への寄贈	10月	66校	区内小学校
【3】読書啓発事業	10月～	70校	区内小学校
26年度(H26.4.1～H27.3.31)実績			②読書応援事業 執行額
			45,198,937円
実施概要	<p>【1】モデル校への先行実施 全校実施に先んじて、4月にモデル校4校に図書を贈り、閲覧状況等を調査した。</p> <p>【2】図書への寄贈 図書の選定は、児童や図書担当教諭の意見を参考に、図書室に比較的少ない「ものづくり」「スポーツ」「音楽・芸能」などの分野を充実させ、7月から9月に200冊、2月から3月に128冊を寄贈した。</p> <p>【3】読書啓発事業 事業PR用ポスターやチラシの配布に加え、特に読んでほしい本の情報をまとめた図書紹介ポスターの掲示、子どもがおもしろかった本のことをカードに書いて友達に紹介する「読んだ本教えて」、そのカードを書いた児童にプレゼントする「オリジナルしおり」の作成など積極的に事業の周知を図った。</p>		
実 施 結 果	実施期間	実施回数	実施場所
【1】モデル校への先行実施 図書への寄贈、読書啓発	4月	4校	島根小、中川小、花保小、栗原北小
【2】図書への寄贈 図書200冊の寄贈 図書128冊の寄贈	7月～9月 2月～3月	66校 70校	区内小学校 区内小学校
【3】読書啓発事業 ポスター掲示、チラシ配布、図書カードの募集、オリジナルしおりの配付など	7月～3月	70校	区内小学校

(4) 学習情報提供			予算現額
			11,714,000円
目的及び概要	<p>生涯学習の推進を図るために、公社の概要や事業案内を、区民に情報発信する。</p> <p>公社ニュース「ときめき」では、公社事業や生涯学習情報、そして「あだち放課後子ども教室」関連情報等を発信する。また、「あだち放課後子ども教室」特集号では、事業概要や取り組み状況などを学校関係者や保護者等に周知する。「公社ホームページ」では、公社概要や事業案内などの情報を提供し、公社を広くPRする。また、区民の生涯学習への取り組みを推進するため、公社事業や生涯学習情報等について区民の関心や理解を深める特集を企画し提供する。</p>		
26年度の予定			
	内 容	実施時期	実施回数
	【1】公社ニュース「ときめき」への自主事業等 情報発信	毎月1日	12回
	【2】「あだち放課後子ども教室」特集号の 編集・発行	11月	1回
	【3】公社ホームページによる情報提供事業 (企画ページ含む)	通年	
26年度(H26.4.1~H27.3.31)実績			執行額
			11,408,385円
実施概要	<p>【1】 公社ニュース「ときめき」への自主事業等情報発信 毎月、自主事業(文化事業、学習・スポーツ事業)の募集案内「あだち放課後子ども教室」のコラムや放送大学の学生募集等を掲載(2頁/月)し、定期的に情報発信を行った。</p> <p>【2】 「あだち放課後子ども教室」特集号の編集・発行 11月に「あだち放課後子ども教室しんぶん」を作成し、事業概要や取り組み状況、また事業の成果を保護者や、学校関係者等に周知した。</p> <p>【3】 公社ホームページによる情報提供事業 公社概要、事業案内や事業報告などの情報を随時発信し、公社を広くPRした。 また、12月には「放課後も図書室においてよ“きっずライブラリー”」と題し、あだち放課後子ども教室読書応援事業“きっずライブラリー”の事業案内やおすすめの本情報等をまとめてわかりやすく提供した。</p>		
	実 施 結 果	実施期間	実施回数
	【1】公社ニュース「ときめき」への自主事業等情報発信	毎月1回	12回
	【2】「あだち放課後子ども教室」特集号の 編集・発行	11月	1回
	【3】公社ホームページによる情報提供事業	随時	
			実施場所
	【1】公社ニュース「ときめき」への自主事業等情報発信		区内全戸配布他 (約310,000部/日)
	【2】「あだち放課後子ども教室」特集号の 編集・発行		区内全小学校 配付他(45,000部)
	【3】公社ホームページによる情報提供事業		

2 生涯学習の人材育成に関する事業

(定款第4条第1項第2号事業)【公益目的事業】

(1) 地域学習活動人材育成	予算現額
	1,902,000 円
	①安全管理スタッフ等 地域人材育成 ②文化団体等 地域人材育成 執行額
	1,591,269 円
目的	「あだち放課後子ども教室」や地域における子どもたちの体験交流活動を推進するために、地域学習活動にかかわる「人材」を発掘・育成し、活用する。また、文化面においても、地域の演奏家のアウトリーチ技術向上を図るとともに、異文化が交流することによる新たな区民文化の創出と、地域の文化芸術の振興および向上を図る。

① 安全管理スタッフ等地域人材育成			
概要	「安全管理スタッフ研修」は、放課後子ども教室を円滑に運営するために実施し、安全管理スタッフの危機管理やより専門的な知識と技術のスキルアップを図る。また、子どもたちの体験・交流活動に関わる地域人材を育成・活動する「あだちこどもサポーター養成事業」を展開するとともに、スキルアップ講習や情報交換等の機会を通じ、活動の支援を行っていく。		
26年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】安全管理スタッフ研修 (子どもとの関わり方等)	5～10月	10回	地域学習センター他
【2】地域活動啓発・向上講座	12月	1回	生涯学習センター他
【3】あだちこどもサポーター養成講座 (読み語り、おりがみ、遊びなど)	5～2月	6回	生涯学習センター他
【4】あだちこどもサポーター スキルアップ講習	7,10月	2回	生涯学習センター他
【5】放課後子ども教室おりがみサポーター 活動支援	通年	80回	区内小学校
【6】サポーターネットワーク支援	不定期	2回	生涯学習センター他

実施概要

【1】安全管理スタッフ研修

放課後子ども教室を円滑に運営するため、スタッフが子どもの対応をする上で必要な知識の向上を図るための研修を実施している。上半期に「運営上の工夫～他校スタッフとの情報交換」を4会場で、下半期は、緊急時の備えとして「応急手当(実技)～ケガの手当てと感染症対応～」、また、児童との接し方を学ぶ「子どもとの関わり方～心の成長を考える～」の2テーマをそれぞれ3会場で実施、下半期は併せて公社から、子どもの人権にふれたガイダンスを行った。

【2】地域活動啓発・向上講座

子どもに関わる活動に携わっている方や保護者を対象に、子どもの発達段階に応じて起こる悩みや問題行動等について理解を深め考える講座を実施している。今年度も「子ども学講座(子どものことを考える大人の勉強会)」と称し、いわゆる*ギャングエイジ期に焦点を当てた講座を開催し、その時期の子どもたちの特性と関わり方について学習した。

【3】あだちこどもサポーター養成講座

子どもに関わる活動を行っている、または活動を行いたいという方を対象に、実践的なスキル習得を目的とした講座を実施している。

「読み語りのための*ボイストレーニング」では、講座最終日に「おはなし会実習」での実演体験を組み入れ、その後の「読み語りキャラバン隊」への参加に繋げている。

「キッズあそびリーダー講習会」は、スポーツや遊びの場面で活かせる「レクリエーションゲーム」や、効果的なゲーム展開のポイントなど、現場で役立つ内容を学ぶ機会として実施した。更に、「運動あそび」をテーマにした続編を開講し、集団をリードする声かけの仕方や、子どもたち自身が工夫して遊べるための支援方法などを学習した。

また、平成21年度から継続して実施している「子どもと遊ぶおりがみ教室」は、今年度で第7期生が修了した。年々、「放課後子ども教室」で子どもと一緒におりがみを折る活動が広がっている。

【4】あだちこどもサポーター*スキルアップ講習

サポーター活動に必要な技術のレベルアップを図る。上半期は、読み語りのサポーター向けに、より実践的な内容の講習会を実施した。下半期には、おりがみサポーター対象の講習会を実施した。

【5】放課後子ども教室おりがみサポーター活動支援及び、【6】*サポーター活動支援*ネットワーク支援

今年度末現在、約70名のおりがみサポーターが、16校の放課後子ども教室で定期的に活動を行っている。情報交換や技術向上を支援するため、「サポーター交流会」を開催し、各校での活動の工夫や特色など相互に発表し合い、子どもとの接し方などのヒントを共有する機会とした。

26年度（H26.4.1～H27.3.31）実績

実施概要	また、今年度から新たに読書支援サポーター事業を始動、10月から活動をスタートしている。活動説明会に参加され登録した方の中で、活動希望地域や日程などの調整が取れた方に、放課後子ども教室開催中の図書室に入ってもらい、その日に、図書室に来ていた子どもたちへの読書支援に関わってもらった。3校で実施、延20回・約80人の児童への読書案内や読み語りを行った。
------	--

*ギャングエイジ：小集団での閉鎖的集団行動をとったり大人の干渉を逃れようと活動する傾向がある、小学3・4年生の頃を指す。社会的能力の発達において重要な時期。

*ボイストレーニング：発声練習

*サポーター：支持者。支えている人。

*ネットワーク：つながり

実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
【1】安全管理スタッフ研修 スタッフ研修会 Aコース 「運営上の工夫～他校スタッフとの情報交換～」 【5/29・30（2回）、6/5】	203人	4回	勤労福祉会館、 竹の塚地域学習センター、 生涯学習センター、 ギャラリー
スタッフ研修会 Bコース 「応急手当(実技)～ケガの手当と感染症対応～」 【10/3、4、20】	84人	3回	生涯学習センター、 勤労福祉会館、 ギャラリー
スタッフ研修会 Cコース 「子どもとの関わり方～心の成長を考える～」 【10/7、25、30】	174人	3回	生涯学習センター、 勤労福祉会館、 ギャラリー
【2】地域活動啓発・向上講座 「子ども学講座」(子どものことを考える大人の勉強会) ～ギャングエイジ期の子ども心に触れる～ 【8/19・26】	84人	1回	生涯学習センター
【3】あだちこどもサポーター養成講座 「読み語りのためのボイストレーニング」 【5/19～6/23】	88人	1回	生涯学習センター
「読み語りのためのボイストレーニング体験講座」 【9/21】	71人	1回	生涯学習センター
「キッズあそびサポーター①」【6/24・7/8】	48人	1回	生涯学習センター
「キッズあそびサポーター②」【11/26・12/3】	22人	1回	生涯学習センター
「読書支援サポーター登録説明会」 【6/10】	22人	1回	生涯学習センター
「こどもと遊ぶ おりがみ教室」第7期 【9/17～10/15】	112人	1回	生涯学習センター 加平小、弘道小
【4】あだちこどもサポータースキルアップ講習 「ボイストレーニング*フォロー講習」 【7/28】	12人	1回	生涯学習センター

実施内容	延参加者数	実施回数	実施場所
「おりがみサポーター第6期フォロー講習」 【10/1】	9人	1回	生涯学習センター
「おりがみサポーターレベルアップ講習」 【10/29、11/12】	57人	1回	生涯学習センター
【5】放課後子ども教室サポーター活動支援 及び 【6】サポーター活動支援・ネットワーク支援 ●サポーター活動支援 おりがみサポーター活動の支援 (放課後子ども教室 17校)	507人	142回	千寿桜小、竹の塚小、足立小、中島根小、西保木間小、舎人第一小、中川北小、梅島第一小、千寿第八小、千寿常東小、新田小、伊興小、本木小、中川小、舎人小、加平小、弘道小
読書支援サポーター活動の支援 (放課後子ども教室 3校)	20人	20回	栗原北小、花保小、高野小
●ネットワーク支援 「おりがみサポーター交流会」① 【6/4】	35人	1回	生涯学習センター
「おりがみサポーター交流会」② 【2/4】	44人	1回	生涯学習センター
小計	1,592人	184回	

*フォロー：足りないところを補うこと

②文化団体等地域人材育成			
概要	<p>「アウトリーチスキルアップ講座」は、区内の演奏家を対象に、アウトリーチ（芸術普及活動）の技術向上と文化芸術の人材育成を図るために開催する。</p> <p>「あだちアートリンクカフェ」は、主として足立区で「アート」にかかわる区民を対象に、様々な立場や役割を超えて、相互の情報交換と交流を行う。</p>		
26年度の予定			
	内 容	実施時期	実施回数
	【1】アウトリーチスキルアップ講座	3月	1回
	【2】あだちアートリンクカフェ	月1回	12回
	26年度（H26.4.1～H27.3.31）実績		②文化団体等 人材育成 執行額
			502,597円
実施概要	<p>【1】 演奏家のためのアウトリーチ講座</p> <p>日本におけるアウトリーチの第一人者の講師陣を迎え、アウトリーチの歴史、アーティストが陥りやすい間違いや、アウトリーチの位置づけ等を習得した。また、プロの演奏家による模擬アウトリーチ体験やグループワークによって、アウトリーチの考え方及び技術の向上が図られた。地域の演奏家がこれらのスキルアップを図ることで、自らの活動に生かし、地域社会全体の文化的潜在能力の向上が期待できる。</p> <p>【2】 あだちアート*リンクカフェ</p> <p>アートにかかわる分野で活動する多彩な*ゲストスピーカーをお招きし、文化・芸術に関わっている参加者が交流する企画。出会いの場から新たな地域文化の展開が期待される。定例の回では、これまでの参加者（約150人）に参加案内を出しているが、7月と12月は一般公開を実施した。</p> <p>●各回のゲストスピーカーとテーマ</p> <p>第31回 角美弥子氏（北海道教育大学准教授） 「芸術(アート)と文化財」</p> <p>第32回 東聡子氏（森鷗外記念館学芸員） 「鷗外と観潮楼」</p> <p>第33回 渡辺啓乎氏（わたなべ音楽堂） 「私の宝物～わたなべ音楽堂<ベルネザール>～」</p> <p>第34回 西田幹氏（熱帯 JAZZ 楽団バストロンボーン奏者）（一般公開） 「～神に捧げられたサウンド～トロンボーンの魅力」</p> <p>第35回 鏡味味千代氏（太神楽師） 「太神楽への転職～OL が芸人を目指した理由とその実情～」</p> <p>第36回 石橋鼓太郎氏（東京藝術大学音楽環境創造科） 「音まち千住の縁「千住の1010人」の専従人として先頭に立つ！」</p> <p>第37回 植村昭雄氏（株式会社 CAN） 「“人と人を繋ぎたい”～千住から世界へ～」</p>		

26年度（H26.4.1～H27.3.31）実績

実施概要	<p>第 38 回 林克彦氏(石洞美術館事務局長) 「千住と千壽と石洞美術館」</p> <p>第 39 回 山崎たいく氏(千住いえまち)・海老江重光氏(千住すみだ川)(一般公開) 「二つの千住-二つの活動から見える地域の今-」</p> <p>第 40 回 なし(新春スペシャル企画) 「40 回の歴史を振り返る」</p> <p>第 41 回 山岸淳子氏(公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団) 「音楽家と地域がどう関わるか-市民がオーケストラにできること、音楽家が地域にできること」</p> <p>第 42 回 黒川昭太氏(30代の(仮)代表) 「30 代の「ゆるいけど本気」のネットワークづくり -ネットワークはゆるく、アクションは本気で-」</p>
------	--

実 施 結 果	延参加者数	実施回数	実施場所
<p>【1】 演奏家のためのアウトリーチ講座 【1/17、18】</p>	14 人	1 回	梅田 地域学習センター
<p>【2】 あだちアートリンクカフェ 【4/25、5/23、6/27、7/25、8/22、9/26、 10/24、11/28、12/19、1/23、2/27、3/27】</p>	384 人	12 回	東京芸術センター 会議室 わたなべ音楽堂 生涯学習センター講堂
小計	398 人	13 回	

*リンク：つながり *ゲストスピーカー：来賓演説者

3 生涯学習の活動支援に関する事業

(定款第4条第1項第3号事業)【公益目的事業】

(1) 地域学習・団体活動支援	予算現額
	502,000 円
	①地域学習支援 ②文化団体等支援 執行額
	427,618 円
目的	区民が地域課題や現代的課題について、主体的に考え、学びあう機会を創出し、学習活動の充実と支援を図る。また、自主的な文化活動を行う区民や地域の芸術家および団体と演奏会等を共催し、地域の文化振興に寄与する。

① 地域学習支援				
概要	事業の企画段階から、大学等専門性に優れた各種機関と連携を取り、学習テーマの設定や講師選定など学習内容の充実を図り、区民の学習活動を支援していく。			
26年度の予定				
	内 容	実施時期	実施回数	実施場所
	【1】区関連機関との連携及びコーディネート	通年	随時	区内各小学校
	【2】大学等各種機関との連携講座事業	6～2月	5回	生涯学習センター他
	【3】地域学習コーディネート事業	通年	随時	区内各所

26年度（H26.4.1～H27.3.31）実績	①地域学習支援 執行額 287,218円
実施概要	<p>【1】 区関連機関との連携及びコーディネート</p> <p>昨年に引き続き、日本将棋連盟との連携による将棋教室を実施した。また、高校生奉仕体験活動（遊びボランティア）には、7校に延べ234人の学生が参加した。</p> <p>【2】 大学等各種機関との連携講座</p> <p>●大学連携講座</p> <p>生涯学習として区民が学べる放送大学や、区内大学の中でも心理・教育分野で多くの講師陣を有する東京未来大学との連携により、地域・生活課題を学ぶ機会を拡充した。放送大学連携講座では「子どもの世界 今・昔」～今を生きる子どもたちの理解に向けて～と、「言い訳と自己正当化の心理学」を開催し、多くの区民が熱心に学んだ。</p> <p>また、東京未来大学連携では、毎年、社会生活に密着したテーマを学ぶ「暮らしに役立つ心理学講座」を実施、5シリーズ目の今回は、「行動の心理学」～人の意見に左右されるしくみ～を開講した。勘違いの心理や口癖やしぐさでわかる性格分析など、心理学を身近で学べる機会として好評を得た。</p> <p>●各種機関連携講座</p> <p>これまでの公社事業を通じてつながりのある専門機関と連携し、健康づくり・スポーツ活動に必要な知識を学ぶ講座を実施した。講座の企画段階から、内容について提案を受けるなど、各機関の専門性を活用して共同でメニュー作りを行い、区民が現代生活に活かせるテーマ設定につなげている。</p> <p>「スポーツコンディショニング講座」は、ジョギングやテニスなどスポーツ実践者向けに開催。ケガの予防や対処法などスポーツ活動に不可欠なコンディショニングづくりの基礎について、最新情報を盛り込んだ講習会を実施した。また、身体の仕組みを学び健康体力づくりへの意識を高めるための「あだちウェルネスカレッジ」では、運動生理学を専門とする講師から、「運動のススメ」と称し、運動がもたらす効用についてわかりやすい解説で学ぶ機会となった。他に、生活の基盤となる「家族」について考える講座を開催、よりよい関係を保つための「方法」を学んだ。臨床心理士の講師の話は具体的で、すぐに実践できるヒントがたくさんあり参考になったとの声が多かった。</p> <p>【3】 地域学習コーディネート事業</p> <p>地域団体等が実施する学習会の企画相談などを受け、内容に応じてプログラム提案や講師紹介などを行っている。今年度は、住区センター事業への講師紹介、スポーツ団体への救急法講習の提案などを行った。</p>

実施結果	延参加者数	実施回数	実施場所
【1】区関連機関との連携及びコーディネート			
① 地域学習団体活動支援講座「将棋塾①」 【6/4、7/2、8/27、9/17、10/15、11/19、 12/10、1/14、2/18、3/11】	209人	10回	鹿浜第一小
② 地域学習団体活動支援講座「将棋塾②」 【5/21、6/18、7/9、9/17、10/15、11/19、 12/10、1/21、2/18、3/4】	133人	10回	桜花小
③ 都立高校生奉仕体験活動 (足立工業高校) 【9月、10月】	234人	82回	伊興小、西伊興 小、上沼田小、 皿沼小 鹿浜第一小 西新井第一小 西新井第二小
【2】大学等各種機関との連携講座			
●大学連携講座			
①「子どもの世界 今・昔」 ～今を生きる子どもたちの理解に向けて～(放送大学) 【9/27】	47人	1回	生涯学習センター
②「言い訳と自己正当化の心理学」(放送大学) 【3/6】	65人	1回	生涯学習センター
③くらしに役立つ心理学・シリーズV 「行動の心理学」 ～人の意見に左右される心理のしくみ～ (東京未来大学)【10/16・23】	120人	1回	生涯学習センター
●各種機関連携講座			
①「スポーツコンディショニング講座」 ～適切なケガの手当てと、復帰へのプロセス～ (NPO スポーツセーフティジャパン)【7/26】	32人	1回	生涯学習センター
②あだちウェルネスカレッジ Vol.6 「運動のススメ」～手軽にできる全身運動とその効果～ 【1/24】	41人	1回	生涯学習センター
③「現代家族の事情」 ～望ましい家族関係をめざして～【2/20】	67人	1回	生涯学習センター

実施結果	延参加者数	実施回数	実施場所
④ゆめ広場（ギャラクシティ） 【5/14・21、6/11・18、7/9・16、 9/10・17、10/10・15、11/12・19、 12/10・17、1/14・1/21、2/4・18、 3/4・11】	1,221人	20回	梅島第二小、興本小、古千谷小、竹の塚小、中島根小、足立入谷小、西新井第一小、梅島小、千寿本町小、鹿浜小、辰沼小、東加平小、花保小、東伊興小、弥生小、青井小、舎人小、弘道小、千寿第八小、弘道第一小
⑤ハンズヒントクラブ 「木のねんどで鉛筆をつくろう」（東急ハンズ） 【2/16】	32人	1回	東栗原小
⑥「おもちゃ講座」（イワヤ株） 【3/11】	12人	1回	中川北小
⑦「しゃボンおどりワークショップ」 （シティプロモーション課） 【10/20、22、23、24、27、28】	76人	6回	千寿小、千寿第八小、千寿双葉小、千寿本町小、千寿常東小、千寿桜小
【3】地域学習コーディネート事業		3回	住区セナー、少年サッカーチーム 区内小学校
小計	2,289人	139回	

② 文化団体等支援

概要

足立ジュニア吹奏楽団の演奏活動を支援するため、地域からの出張演奏依頼に伴う楽器運搬費を支出する。

「歓喜の演」「足立区音楽祭」「プリランテコンサート」「足立吹奏楽団定期演奏会」については、足立区の文化振興のため、各団体からの申請により公社共催事業とし支援を行う。

イベントコーディネータは、区、民間、地域からの企画相談に対応する窓口を設置し、地域の文化事業について助言、提案等の支援を行う。

26年度の予定

内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援事業	1～3月	1回	区内
【2】歓喜の演（狂言、合唱）	12,1月	2回	西新井文化ホール他
【3】足立区音楽祭	9月	1回	西新井文化ホール他
【4】プリランテコンサート	7,12月	2回	西新井文化ホール
【5】足立吹奏楽団定期演奏会	6,2月	2回	西新井文化ホール
【6】イベントコーディネータ	通年	随時	区内各所

26年度（H26.4.1～H27.3.31）実績		②文化団体等支援 執行額		
		140,400円		
実施概要	<p>【1】 足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援 出張演奏に伴う楽器運搬支援を行った。</p> <p>【2】 歓喜の演 実行委員会、ギャラクシティ指定管理者、公社の三者共催事業とし、ギャラクシティ施設以外での活動場所の提供、実行委員会への参加等の運営支援を行った。 狂言、合唱ともに、本番公演を共催した。</p> <p>【3】 足立区音楽祭 実行委員会、ギャラクシティ指定管理者、公社の三者共催事業とし、実行委員会へ参加し、運営についての助言、協力を行い公演を共催した。</p> <p>【4】 プリランテコンサート 区民演奏家グループであるプリランテの定期演奏会の事業共催を行い運営についての助言・協力を行い公演を共催した。</p> <p>【5】 足立吹奏楽団定期演奏会 定期演奏会を共催し、事業運営の支援を行った。</p> <p>【6】 イベントコーディネーター 長門住区センター、NPO 法人千住芸術村、花畑保育園父母の会、千寿の郷地域包括センター、佐野区民事務所、楽学の会、桑袋ビオトープ公園、新田学園、伊興小、区環境政策課の各団体・機関より出演者等について相談を受け、それぞれ助言、コーディネートを行った。</p>			
	実施結果	延参加者数	実施回数	実施場所
	<p>【1】 足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援 足立ジュニア吹奏楽団楽器運送支援 【4/5】</p>	300人	1回	興本扇学園
	<p>【2】 歓喜の演 ※狂言と合唱への支援 （公演日：狂言12/6、合唱1/10）</p>	1,392人	13回	区内各所 西新井文化ホール
	<p>【3】 足立区音楽祭 第10回足立区音楽祭（共催）【9/1、15、23】</p>	1,750人	5回	足立区役所アトリウム アリオ西新井 西新井文化ホール
	<p>【4】 プリランテコンサート プリランテコンサート（共催）【7/6、11/2】</p>	946人	2回	西新井文化ホール
<p>【5】 足立吹奏楽団定期演奏会 足立吹奏楽団スプリングコンサート（共催） 【5/25】</p> <p>足立吹奏楽団第36回定期演奏会（共催） 【2/1】</p>	459人 682人	1回 1回	西新井文化ホール 西新井文化ホール	

実施結果	延参加者数	実施回数	実施場所
【6】イベントコーディネート		10回	長門住区センター 千住芸術村 花畑保育園父母の会 千寿の郷 佐野区民事務所 楽学の会 桑袋ビオトープ公園 新田学園 伊興小 区環境政策課
小計	5,529回	33回	

4 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業
(定款第4条第1項第4号事業)【公益目的事業】

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業		予算現額	
		8,909,000円	
目的及び概要	図書室・視聴学習室を広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供する。 放送大学学園東京足立学習センターから公社が管理を受託し、区民に開放し、学習機会の拡大を図る。		
26年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】図書室、視聴学習室の設備の維持管理・開放事業	通年		東京足立学習センター
26年度(H26.4.1~H27.3.31)実績			執行額
			6,970,839円
実施概要	【1】図書室、視聴学習室の設備の維持管理・開放事業 図書室・視聴学習室の管理を行い学生に限らず広く区民に開放し、身近で使いやすい学習施設を提供し区民の方の利用に供した。		
実 施 内 容	実施期間	実施回数	実施場所
【1】図書室、視聴学習室の設備の維持管理	通年		東京足立学習センター

5 足立区から受託する生涯学習に関する事業
 (定款第4条第1項第5号事業)【公益目的事業】

(1) あだち放課後子ども教室支援		予算現額		
		228,657,540円		
目的及び概要	<p>区が推進する放課後の子どもの安全で安心な居場所を提供する「あだち放課後子ども教室事業」を区から受託し、実行委員会による事業運営を支援するとともに、放課後により豊かな時間と空間を提供できるよう実施内容の拡充および環境整備を図る。</p> <p>「安全管理講習会」は、安全管理スタッフが、日々の見守り業務の中で発生する事故や怪我の対応に必要な応急手当や安全対策などの知識および技術を習得することを目的として実施する。</p> <p>「運営委員会」は、事業全体の円滑な実施を図るために、事業計画の策定、安全管理や広報活動などの取り組み、活動プログラムの企画および事業実施後の検証・評価等についての検討の場として実施する。</p> <p>「ブロック会議」は、運営委員会を補完するために開催し、実施状況の把握や情報交換、運営上の課題およびその対応策を検討することで、安定運営と対象学年等の拡大を図るとともに、活動内容の充実を目指す。</p>			
	26年度の予定			
	内 容	実施時期	実施回数	実施場所
	【1】あだち放課後子ども教室の支援	通年	随時	区内各小学校
	【2】安全管理講習会の実施	4～7月	70回	区内各小学校
	【3】新任スタッフ研修会	9～3月	4回	生涯学習センター他
	【4】運営委員会の支援	1月	1回	生涯学習センター
	【5】ブロック会議の支援	11月	13回	区内各小学校他

26年度（H26.4.1～H27.3.31）実績		執行額		
		214,075,693円		
実施概要	<p>【1】 あだち放課後子ども教室の運営支援 放課後子ども教室を円滑に実施するために各校への巡回を実施、年間、1校あたり平均49回(週1回以上)の巡回を行った。その他、資料・配布物等の作成やスタッフへの謝金、支払い事務、児童の事故対応や保険の手続きなどの支援を随時行った。</p> <p>【2】 安全管理講習会の実施 スタッフフォローアップ研修として、*AEDの基礎知識や熱中症の対応などの講習会を夏休みに入る前までに全校で70校69回(2校での合同研修含)の研修を完了した。</p> <p>【3】 新任スタッフ研修 新しくスタッフになる方を対象に、応急手当(*RICE処置)や*AEDの基礎知識などの講習会を上半期は9月、下半期は11月、1月、3月の計4回、実施した。</p> <p>【4】 運営委員会 テーマを「地域で支えるあだち放課後子ども教室」とし、各放課後子ども教室の実行委員長を対象に、放送大学教授、岩永雅也氏による講演会を実施。ディスカッションを交えて事業の意義や家庭・地域・学校の役割等についての理解を深めた。</p> <p>【5】 ブロック会議 実行委員長及び小学校長が出席、各放課後子ども教室を小学校13ブロックに分けて学校間の活動状況を報告し合い、今後の運営に活かすための情報交換を行った。</p> <p>【6】 避難訓練の実施 放課後子ども教室開催中に地震が発生したことを想定し、学校および校内にある学童保育室などと合同で避難訓練を行った。</p>			
	実施結果	延参加人数	実施回数	実施場所
	<p>【1】 あだち放課後子ども教室の運営支援 1校あたり平均巡回回数</p>		49回/年	区内小学校
	<p>【2】 安全管理講習会の実施 スタッフフォローアップ研修(応急手当) 【4/4～7/18】</p>	1,022人	69回	区内各小学校等
	<p>【3】 新任スタッフ研修 新任スタッフ研修(応急手当) 【9/30、11/27、1/23、3/10】</p>	74人	4回	生涯学習センター 子ども支援センター げんき 勤労福祉会館

実施結果	延参加人数	実施回数	実施場所
【4】運営委員会の実施 運営委員会 【1/22】	101人	1回	生涯学習センター
【5】ブロック会議の実施 ブロック会議 【11/5～11/28】	235人	13回	区内小学校
【6】避難訓練の実施 【4/24～3/17】	12,739人	85回	区内小学校内
小計	14,171人		

*AED(エー・イー・ディー)：自動体外式除細動器機。心室細動や心室頻拍などの不整脈に対し、電気的な刺激を与え、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器。

*RICE(ライス)処置：応急処置の基本であるRest(安静)、Ice(冷却)、Compression(圧迫)、Elevation(挙上)の頭文字をとったもので、打撲やネンザなど、よく起こるケガの多くに対応できる応急処置。

(2) 総合受付管理			予算現額	
			11,126,000 円	
目的及び概要	区から委託を受け、生涯学習センター、地域学習センター、総合スポーツセンター、屋内プール等の各総合受付窓口をネットワークで結び、利用者の利便性を高めている「屋内受付システム」を新たな区の「受付システム」に移行するための作業等のサポートを行う。			
26 年度の予定				
内 容		実施時期	実施回数	実施場所
【1】屋内受付システム移行作業		通年		
26 年度 (H26.4.1~H26.9.30) 実績				執行額
				6,636,498 円
実施概要	【屋内受付システム移行作業】 区の新たな「受付システム」に移行するためのサポート及びネットワーク回線等の撤収作業は、6月末で終了した。			
実 施 結 果		実施時期	実施回数	実施場所
【1】屋内受付システム移行作業		4~6月		

(3) ジュニア吹奏楽団支援		予算現額	
		4,512,500 円	
目的及び概要	<p>区から委託を受け、音楽を愛好する情操豊かな児童を育成する「ジュニア吹奏楽団」の支援事業を実施する。</p> <p>公社は、所管する区の方針に則り、足立区内4～6年生の希望者を対象に週2回の練習を行い、定期演奏会をはじめ、区内の各イベント等への出演を調整し、演奏活動の支援を行うとともに、友の会の運営支援も行う。</p>		
26年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】 楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進 指導者謝礼補助 楽器消耗品購入 通信運搬費補助	通年		練習（島根小） 定期演奏会（区内） その他区内外での 派遣演奏会場
26年度（H26.4.1～H27.3.31）実績			執行額
			4,507,497 円
実施概要	<p>【1】楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進</p> <p>楽団および楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進を行った。平成26年度の団員は44名。派遣演奏やイベント出演回数は増加している。</p> <p>興本扇学園興本小学校開かれた学校づくり協議会主催「花と音楽と茶道の集い」、北千住ルミネ主催「キレイプロジェクト」、西新井第三団地自治会主催「入居50周年記念団地祭」など多くの出演依頼を受け、派遣演奏を実施し、地域からの期待度がより高まった。</p>		
実 施 結 果	延参加者数	実施回数	実施場所
<p>【1】 楽団及び楽団友の会運営支援、演奏活動支援、自主運営の促進</p> <p>《通年》指導者謝礼補助、楽譜等消耗品購入、通信運搬費補助、対外折衝</p> <p>●定期練習</p> <p>●楽団活動</p> <p>①平成26年度入団式 【4/12】 100人 1回 島根小学校</p> <p>②友の会総会 【5/10】 50人 1回 島根小学校</p> <p>③避難訓練 【5/28】 100人 1回 島根小学校</p> <p>④夏合宿 【8/16～18】 174人 1回 日光林間学園</p> <p style="text-align: right;">楽団活動 小計 424人 4回</p> <p>●派遣演奏／イベント出演</p> <p>①興本扇学園開かれた学校づくり協議会主催「花と音楽と茶道の集い」 【4/5】 300人 1回 興本扇学園</p>			

実施結果	延参加者数	実施回数	実施場所
②北千住ルミネ主催 「エコプロジェクト」 【5/24～25】	650人	4回	北千住ルミネ
③サマーコンサート in アリオ西新井 【8/30】	300人	1回	アリオ西新井
④西新井第三団地自治会主催 「入居50周年記念団地祭」 【8/30】	250人	1回	西新井第三団地
⑤区民体育大会開会式 【10/13】	609人	1回	総合スポーツセンター
⑥あだちブラストフェスティバル 【10/19】	1,445人	1回	西新井文化ホール
⑦三星保育園文化祭 【11/4】	100人	1回	三星保育園
⑧電大管弦楽団合同練習 【11/12、26】	140人	2回	島根小
⑨クリスマスコンサート in アリオ西新井 【12/13】	600人	2回	アリオ西新井
⑩三星保育園子育て広場 【1/24】	70人	1回	三星保育園
⑪島根小餅つき大会 【2/21】	250人	1回	島根小
⑫第25回定期演奏会 【3/22】	583人	1回	西新井文化ホール
派遣演奏/イベント 小計	5,297人	17回	

(4) 体力向上支援人材育成		予算現額	
		334,000円	
目的及び概要	<p>区から委託を受け、区民の体力向上を図るため、からだの動きを良くする運動法である「*コーディネーショントレーニング」の指導者を育成する。</p> <p>地域スポーツ指導者や保育・学校体育に携わる区民を対象に、コーディネーショントレーニングの基礎理論を学ぶ講習会を実施する。更に、指導力向上を目指し、実践指導に即したプログラムを学ぶスキルアップ講習会を実施していく。</p>		
26年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】 コーディネーショントレーニング指導者講習会（初・中級者）	5,11月	2回	総合スポーツセンター-他
【2】 コーディネーショントレーニング指導者スキルアップ講習会(実践指導法)	6～2月	3回	生涯学習センター

26年度（H26.4.1～H27.3.31）実績		執行額		
		297,042円		
実施概要	<p>【1】コーディネーショントレーニング指導者講習会 コーディネーショントレーニングの普及に関わる人材の発掘・育成を図るため、地域スポーツ指導者や保育施設・学校の体育に携わる方、指導者を目指す方などを対象に、コーディネーショントレーニングの基礎理論講習会をビギナー対象と*アドバンス対象の2コース実施した。</p> <p>【2】コーディネーショントレーニング指導者スキルアップ講習会 理論編に続いて、指導対象者別のプログラム作成をワークショップ形式で学ぶ実践編の講習会を実施した。受講者の指導経験レベルに合わせて、ビギナーからアドバンスまで段階的に学べる講習会とした。</p>			
実施結果		延参加人数	実施回数	実施場所
【1】コーディネーショントレーニング指導者講習会				
① コーディネーショントレーニング (ビギナー対象)理論編 【6/15】		44人	1回	総合体育センター
② コーディネーショントレーニング (アドバンス対象)理論編 【10/5】		22人	1回	生涯学習センター
【2】コーディネーショントレーニング指導者 スキルアップ講習会				
①高齢者向けプログラム編 【4/29】		39人	1回	生涯学習センター
②コーディネーショントレーニング (ビギナー対象)実践編【6/20・27・7/4・11】 ※4日間コース		77人	1回	生涯学習センター
③コーディネーショントレーニング (アドバンス対象)～総論～ 【10/27】		13人	1回	生涯学習センター
③ コーディネーショントレーニング (アドバンス対象)～おとな～ 【11/17】		10人	1回	生涯学習センター
④ コーディネーショントレーニング (アドバンス対象)～こども～ 【12/1・15】		25人	1回	生涯学習センター
小計		230人	7回	

*コーディネーショントレーニング：身体と脳、神経系統のバランスの良い発育を促し、運動の習得効果を高めるためのトレーニング法

*アドバンス：進歩

【1～5 公益目的事業に対する人件費】

公益目的事業に対する人件費			予算現額
			252,202,000 円
目的及び概要	定款第4条第1項事業である「公益目的事業(放送大学学園東京足立学習センターの施設開放に関する事業を除く)」を実施する職員の人件費。		
26年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】公益目的事業に従事する職員人件費	通年		
26年度(H26.4.1～H27.3.31)実績			執行額
			249,996,201 円
実施概要	【1】公益目的事業を実施する職員の人件費の支出。		
実 施 結 果	実施時期	実施回数	実施場所
【1】公益目的事業に従事する職員人件費	随時		

6 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業
(定款第4条第2項第1号事業)【その他の事業1】

(1) 放送大学学園東京足立学習センターの運営等に関する事業			予算現額
			5,112,000 円
目的及び概要	放送大学東京足立学習センターは、区民が身近で、高等教育を受ける機会を提供するために誘致した施設である。公社は、同センターの総務的業務の一部を担っている。		
26年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】東京足立学習センターの事務局事務運営補助事業			
広報に関する事務	通年		東京足立学習セ-
面接授業に関する事務	通年		
単位認定試験の実施に関する事務	通年		
26年度(H26.4.1～H27.3.31)実績			執行額
			5,112,000 円
実施概要	<p>【1】東京足立学習センターの事務局事務運営補助事業</p> <p>放送大学東京足立学習センターの第1学期4月入学から、学部および大学院の学生の受け入れを始め、面接事業および単位認定試験のサポートを実施。区民の学習機会の拡大を図ってきた。また、公社ニュース「ときめき」に、学生募集等の記事を掲載した。</p> <p>放送大学学園東京足立学習センターの在籍者数は、現在 2,528 名でありそのうち足立区在住者は 488 名で全体の 19%である。</p>		
実 施 結 果	実施時期	実施回数	実施場所
【1】東京足立学習センターの事務局事務運営補助事業 《通年》広報に関する事務、面接授業に関する事務 単位認定試験の実施に関する事務	通年	年間随時	東京足立学習セ-

7 その他前号に定める事業に関連する事業
 (定款第4条第2項第4号事業)【法人会計】

(1) 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営			予算現額
			58,924,000円
目的及び概要	公益財団法人足立区生涯学習振興公社を運営するために、公益法人として不可欠な理事会や評議員会の開催及び庶務事務を行う。また、自主事業を安定して継続するために、基本財産等の安全確実な資産運営を行う。		
26年度の予定			
内 容	実施時期	実施回数	実施場所
【1】公益財団法人の管理・運営事業 職員等の給与システムの運営 経理・契約システムの運営 基本財産等の管理及び運用 理事会及び評議員会の開催	通年 通年 通年 5,11,2月		公社事務局
26年度(H26.4.1~H27.3.31)実績			執行額
			53,213,862円
実施概要	【1】公益財団法人の管理・運営事業 職員等の給与システムの運営、経理・契約システムの運営、基本財産の管理、理事会及び評議員会の開催について、公益法人として適切な執行及び運営管理を行った。		
実 施 結 果	実施時期	実施回数	実施場所
【1】公益財団法人の管理・運営事業 《通年》職員等の給与システムの運営、経理・契約システムの運営、基本財産等の管理及び運用、理事会及び評議員会の開催	通年	通年	公社事務局

公 社 概 要

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

設 立	平成5年2月1日（平成12年4月1日名称変更）
公益認定	平成21年10月1日公益財団法人
基本財産	15億円
代表者	理事長 清水 忠
職員数	50名（定数） 常勤30名（派遣7名、固有23名） 再任用1名 非常勤19名
住 所	〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21
ホームページ アドレス	http://www.kousya.jp/tokimeki/

組 織 図

（決 議 機 関）

評 議 員

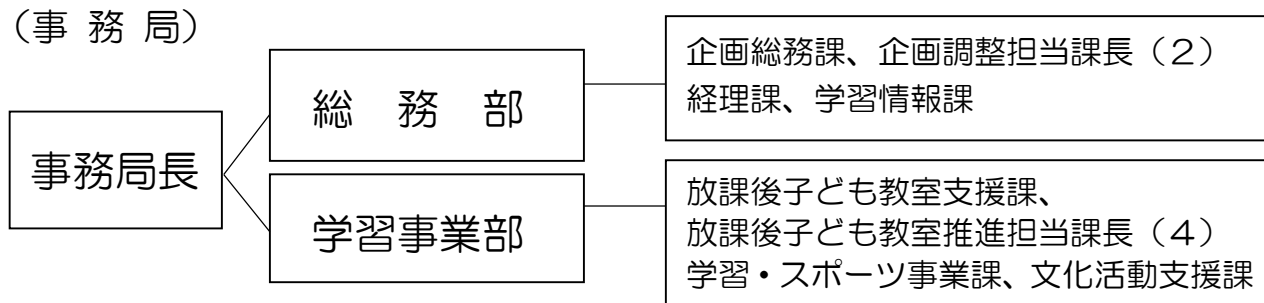
（監 査 機 関）

監 事

（執 行 機 関）

理 事 会 — 理 事 長 — 副 理 事 長
（代表理事） （業務執行理事）

（事 務 局）



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

平成26年度事業報告書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社
総務部企画総務課 03-5813-3724